

平成29年度ごみゼロやまがた推進県民会議県民部会議事録

《日時》

平成30年2月27日（火）13時30分～15時10分

《場所》

山形県庁 701会議室

《出席委員》（※部会長以下委員名簿順）

吉田康之委員（部会長）、河合麻衣委員、後藤とし子委員、東浦永子委員、細谷由紀委員、森川清志委員

《県民部会》

1 開会

2 あいさつ

吉田委員（部会長）よりあいさつ

3 議事（座長：吉田委員（部会長））

(1) 報告

- ① 第2次山形県循環型社会形成推進計画（ごみゼロやまがた推進プラン）平成29年度取組状況について
- ② 第2次山形県循環型社会形成推進計画（ごみゼロやまがた推進プラン）平成30年度事業展開について

【事務局】（資料1～3により説明）

<質疑・応答>

【森川委員】

北朝鮮の漁船の取り扱いについてどうしているのか。所管外か。

【事務局】

直接当課の担当ではない。国の補助金を活用して市町村、県の海岸管理者である庄内総合支庁河川砂防課及び港湾事務所で回収処理を行った。船の形が残っている状態で回収処理されたのは5隻。木造船は一般廃棄物ということで市町村の焼却施設等に持っていかれるケースが多い。県では400万円ほど費用をかけて処分している。船の一部と思われる木片や船に乗っていたと思われる方の遺体が漂着したケースもあるが、この場合も市町村で回収処理している状況である。

【森川委員】

国庫補助の話があったが、100%でなければおかしいのではないかと。市町村等が負

担しなければならないのか。

【事務局】

海岸漂着ごみを回収する補助金がある。以前は100%だったが、現在は補助率が下がり、場所により7/10、8/10、9/10となっている。昨年末から北朝鮮と思われる漂着船の問題が全国的にクローズアップされ、本県も含め国への要望活動等を行った。その結果、補助率のアップと補助率で十分対応ができない部分は地方交付税により事後措置してもらえることとなり、北朝鮮からと思われる漂着船については、国で100%措置している制度になっている状況である。

【後藤委員】

木質バイオマス燃焼機器設置への支援として、ストーブ設置支援をしているが、一般家庭でも補助金がもらえるのか。

【事務局】

一般家庭でも補助対象である。

【東浦委員】

木質バイオマス燃焼機器設置への支援を、項目にあげているということは、これをしなければごみが増えるという想定のもとであげているのか。

【事務局】

資源の有効利用ということ、燃料の中には廃棄物を利用しているものがあることで計画の中に入っている。

【後藤委員】

もったいない山形協力店について、109事業所の登録をしているがどのような効果が出ているか。効果はあったのか。

【事務局】

登録事業所にアンケート調査を行い、現在とりまとめ中である。

【森川委員】

昨年、3010運動という言葉聞いたが、この資料にはないが継続していくのか。

【事務局】

30分が長いのではとの意見もあり、3010運動というキャッチフレーズを使わずに同内容の運動は継続している。

【河合委員】

もったいない山形協力店109事業所についてどんなお店が登録しているのか。総会で協力店へのセミナーを開催すると報告があったがこれから開催するのか。

【事務局】

セミナーは3月14日に開催する。皆さんも参加できます。協力店の内訳は、スーパー、小売店、旅館、食堂等である。飲食店の登録が少ないので力を入れていく。

【東浦委員】

一般廃棄物は県で直接行わないので、市町村がこのような運動にどう取り組んでいくかにかかっている。私の住む新庄市では残念だが減っていったいない。ごみ処理について、分類の仕方から抜本的に変えていく必要があるのではないかと話している。県もこの資料を見る限り去年からの引き続きで、直接やっていないことでの限界があ

ると思うが何かをもっとやっつけていかないとごみ減量に繋がっていかないのではないか。新庄市でもそうだが、子供数の減少に伴い集団資源回収数が減少していたり、老人の単身世帯が増加しごみ減量に協力できない状況がある等、住民の状況の変化がある。県も市町村を通してではあるが、もっと効果的な施策に見直していく必要があるのではないか。

【事務局】

一般廃棄物の直接的な処理主体は市町村。県では循環型社会形成推進計画で、一般廃棄物についても目標を掲げて進めている。県が一般廃棄物の減量に対し、直接行えることは啓発が主となる。しかし、ごみ削減への効果としては歩みが遅く、目標達成への到達が難しい状況である。

今年度、各市町村のごみ削減・リサイクル推進の取組み、目標値及び実績について集約し、県のホームページに掲載した。各市町村の取組みやごみ減量の到達度を見える形にしている。目標達成に向けた市町村の取組みについて、県としても意見を言わせていただきたいし、県民の方からも各市町村に対し意見を言ってほしいと考え、その土台となる資料として公開した。それらを活かしながら、市町村のごみ削減に繋がる施策を積極的に推進できるよう誘導していきたいと考えている。

【座長：吉田委員（部会長）】

この会議の根幹に関わる部分の意見も出ましたので、協議の方でまた更に深めて、具体的なアクションへ導いていければ良いと考える。

(2) 協議

- 平成30年度ごみゼロやまがた県民運動 県民部会展開方針について
・各委員の所属団体における3R推進に向けた活動状況（資料4）

【吉田委員（部会長）】

学校ができる取組みは限られているが、足元からの意識改革が非常に大事である。保護者、子どもたちへの啓発が大きなファクターと考える。

仙台の会社で発行している「エコファミリー新聞山形県バージョン」が県内の希望小学校に無料で配布されている。連合小学校長会で利用の声掛けを行った。

昨年7月、東北連合小学校長会があり環境教育について発表をした。ごみゼロやまがた推進に関わって意見を出してもらった。その折、司会を行っていたのでまとめとして3点申し上げた。1点は、ごみゼロは広範かつ深い波を含んでいる取組みのため、全体計画の見直しをもう一度やりましょう。2点目は、学校で取り組んでいる活動をごみゼロの視点で再認識しましょう。3点目は、ごみゼロの活動について学校を発信源として地区や保護者に声掛けをどんどんしていきましょう、と申し上げた。

資源回収を行っている学校は、継続してやっていきましょうと声掛けしている。

給食の食べ切り、残飯を少なくする運動を各学校で子供たちに呼びかけている。

飲食を伴う会合における「3010運動」の推奨を行った。校長先生でも3010運動を知らない方がたくさんいたが、現在は浸透してきている。

【河合委員】

環境ネットやまがたでは、環境省の環境マネジメントシステム「エコアクション21」

の地域事務局をしている。環境ネットやまがたでも「エコアクション21」を取得しており、その活動の一環で、紙ごみや燃えるごみを毎月計測してから出している。3か月に1回内部会議を開催し、適正かどうか確認している。また、紙ごみは古紙回収に出すことやコピー用紙の削減などを行っている。

総会後に行う懇親会において、3010運動を呼びかけた。今年度は、コップ、皿、はしも使い捨てを使わずに行ったことでごみを削減できた。

環境ネットやまがたは、県の地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けている。温暖化防止のイベントの一つとして、廃油、廃ろうそくを使用したキャンドルを作り、山形市や上山市と協力してキャンドルナイトを行った。

社会貢献活動ということで年に一度近くの河川の清掃活動を行っている。拾ったごみも計量し最上川フォーラムに報告した。

平成30年度についても同等の活動を行う予定。

【後藤委員】

各団体の活動をまとめてみた。

- ① 買い物袋持参運動、徹底されてきたと思われる。
- ② 着物のリメイク講座をやっている団体もある。
- ③ 廃油の利用（石けん作り、キャンドル作り）
- ④ 生ゴミのたい肥化、ボカシ等
- ⑤ ペットボトルキャップ回収（ワクチンに変える）
- ⑥ 古布の利用、アクセサリ作り、マイ箸入作り、エコタワシなどを作っている団体も多い。
- ⑦ バザーの開設
- ⑧ 食品ロスの削減（食べ切り運動）については、機会あるごとに呼びかけている。
- ⑨ 過剰包装の見直し

上記のような3R活動を各単会において実施している。その他あらゆる機会を捉え、県からのパンフレット、チラシを配り、啓発活動に取り組んでいる。

平成30年度も引き続き同じような活動になると思われるが、会員一人ひとりが限りある資源を節約、再利用するなど、家庭でできることは、まだまだたくさんあるので出来ることから始めることが大切であると考え、会員に周知していきたいと思っている。

【東浦委員】

個人としては、家から排出するごみを徹底的に分別し、種目毎に重量を量ってからごみに出すことを20年ほど続けている。総排出量は367.6kg、1日当たり1kgとなった。そのうち焼却ごみが42.215kg、埋立ごみは0kgであったので、資源化率は88.5%となった。新庄市は瀬戸物の欠けたものや植木鉢の欠けたものも資源化処理しているので資源化率が高い。これからも続けていきたい。県のリサイクル率約20%も最大限リサイクルすると80%を超えるのではないか。もちろん生ごみもコンポストにしている。

食品ロスを意識を持って減らすため、管理不行き届きで捨てざるを得なくなった食材を、買った金額で記録することに10年程取り組んでいる。金額で記録すると、1年

間で何円分捨てたのか実感できる。昨年は1,808円。以前は4,000円程の時もあり、だいぶ減らせてきていると感じている。また、ごみ減と直接関係はないが、輸送に伴う温暖化ガスの排出削減として、地産地消を推進している。家庭菜園により自給率を高めるとか地場産の季節野菜を食べるようにしている。

団体としては、廃食用油のリサイクル事業を行っており丸3年になる。一般家庭、小規模事業所及び社会福祉施設等から排出される廃食油を収集、ろ過し、園芸農家のハウス暖房用燃料として油のまま利用されている。今年度は2,000ℓ、ドラム缶10本程度を収集しリサイクルされている。普及させ伸ばしていきたい。

新庄市で行っている学校給食の残飯と一般家庭550世帯の生ごみの堆肥製造とできた堆肥の利用・普及を受託している。畜糞をいれておらず、純粹に台所ごみだけで堆肥を作っているの、においもなく良い堆肥ができています。生ごみも焼却ではなく、堆肥化やメタン発酵をさせてガスを活用し発電するなど焼却からの脱却を目指していくべきではないかと考える。

【細谷委員】

みらい子育てネットやまがたは子育てを中心とした活動を行っており、環境に特化した具体的な活動を行うことは厳しいが、お母さん方の団体ということで具体的に動ける人が多いと感じている。今ここで話しを聞いて、家庭ごみの減らし方をぜひお母さんたちに伝えたいと思ったので来年度伝える機会を作りたい。

総会参加者にリーフレットを配布し、生ごみの水切りや3Rの話しをした。会報にもコーナーを設け、ごみゼロについて広報を行った。

親子の活動も多いため、エコ工作を通して、繰り返し使うということやムダにしないことの大切さを伝えている。

リーフレットを多めにいただいて、置いてくれるところを探して置いて頂いた。

団体の事務的な活動としては、ごみの分別や用紙の裏面を使うことなどを行った。

来年度も今年度と同じ活動を継続するとともに、お母さんたちに委員の方や県の協力を得て伝えていきたいと考えている。

【森川委員】

山形県保健環境活動団体連合会は、昨年、鶴岡市と酒田市が脱会したため30団体での構成となり、資料に記載の活動を行った。

ごみの減量は、台所ごみの減量、特に水分の減量が必要と考える。堆肥化や生ごみ処理機購入補助も行っているが、夏の手軽な方法として、スイカやメロンの皮を天日干しにしてから捨てる方法がある。私の家庭では1週間もすればカラッカラになる。

店頭回収の利用を行っている。

- ・ 欠席委員の活動状況について

【事務局】（資料4により説明）

- ・ 平成30年度ごみゼロやまがた県民運動 県民部会展開方針 原案について

【事務局】（資料5により説明）

【東浦委員】

いかに市民に意識を植え付けていくかが大事なこと。県の広報が少ないと感じる。店頭回収でのリサイクル参加について、大型スーパーは参加しているが、ドラッグストアやホームセンターは、生鮮食品以外は販売しているのに店頭回収は行っていない。そこで買った商品は他の店頭回収に持って行きづらいのでごみになってしまうのではないか。

【後藤委員】

ドラッグストアはレジ袋もくれる。そこでまたゴミが増える。展開方針のチラシは市町村にも渡しているか。一人ひとりの意識が大切なので、家庭に情報をおとしていかなければならない。

【座長：吉田委員（部会長）】

今話し合っていることは、地道な取組みで、一人ひとりの意識が高まらないうちは、何をスローガンに掲げてもし立ち行かない。しかし、数値を見ると、いい方向へ進んでいるとの印象を受けた。

【細谷委員】

1人1日当たり100gのごみを減らせばよいということだが、100gは具体的にどれがどの位なのかかわからないとお母さんたちに伝えづらい。

【事務局】

以前調べたところ、キャベツの葉っぱ1枚約50g、牛乳パック1つ30g、割り箸1膳10gというデータがあった。他に、ごみ減らした例ということで、お茶のティーバッグを淹れたあと、軽く絞って10g減少、一晚乾燥させると更に10g減少するというデータがあった。

【細谷委員】

やはりお母さんたちには、今のような具体的な表現があった方が取り組みやすいのではないか。

【座長：吉田委員（部会長）】

数値というのは非常に説得力がある。また、リサイクルして何になるのかを示すなど、具体的に伝えられれば更にごみゼロがすすむのではないか。

【座長：吉田委員（部会長）】

平成30年度ごみゼロやまがた県民運動県民部会展開方針として、食品ロス削減運動、生ごみ水切り・堆肥化運動、ごみの分別徹底運動の3つを展開方針案として総会に提出することでいかがか。

【各委員】

異議なし

(3) その他

【森川委員】

今日の県民部会の出席者が11名中6名となっている。少なすぎる。団体の場合代理でもいいので出席してほしい。

【事務局】

代理出席も認めているが、今回はその代理の都合もつかなかったようだ。

4 その他

【事務局】 委員改選、今後のスケジュールについて説明。御礼。

5 閉会